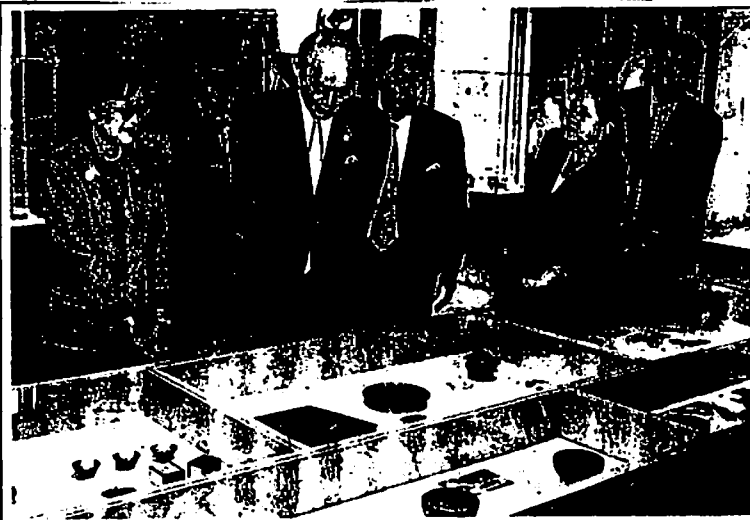


里山里海の保全説明

谷本知事 生物多様性事務局で



【モントリオール＝築田和夫】カナダ訪問中の谷本正憲知事は29日午後（日本時間30日午前）、モントリオール市内の生物多様性事務局を訪問し、事務局職員約70人を前に、石川県の里山里海の特徴などを説明した。

この中で谷本知事は、里山里海の利用保全に向けた石川独自の取り組みや、県が現在策定に向けて進めている生物多様性戦略ビジョン（仮称）の策定などについて、分かりやすく説明した。

この日は、モントリオール植物園にも立ち寄り、園内の日本館が来月未まで開いている漆展「漆・神秘なる樹液」を観察した。日本館長でもあるソニア・ダンタノー女史

は、漆に興味を持ち石川県に3度も来た経験がある。漆展を説明したダンタノー女史は「輪島を語ることなくして、漆を語ることはなくかれ」と話し、知事は「女史は地元でも言わないようなことを言っている」と話した。漆展は輪島塗の櫛づくりの工程が分かるように展示されている。

22.10.-1
北国(朝)夕
国際交流課

ドイツ芸術訪問団が市長と懇談
国の国際交流事業「日独青少年指導者セミナー」で日本を訪れているドイツの芸術訪問団は30日、市役所を訪れ、山出保市長と懇

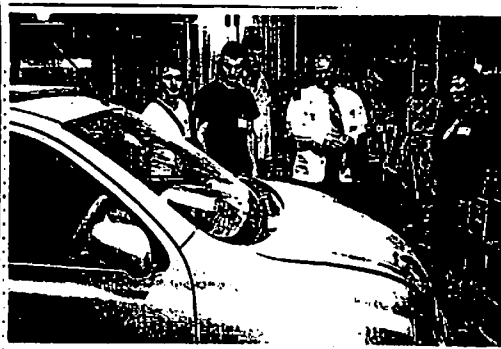
談した。写真。山出市長は金沢の歴史やまちづくりを紹介し「伝統文化を残すことは金沢の宿命であり、そこに現代的な文化を入れていくことも大事だ」と強調した。

22.10.-1
北国(朝)夕
国際交流課

などの学校や文化施設を視察している。アトリウム青少年芸術学校のルッツ・リーンケ校長は「金沢21世紀美術館を見ることでできてうれしい」などと話し、この後、同美術館で「ミュージアム・クルーズ」を視察した。一行は2日までに市内に滞在し、金大附属中や金沢工大などを訪問する。



訪問団はドイツの芸術教育に携わる7人で、金沢や東京、横浜



◆…金沢科
学技術専門学
校(金沢市三
北窓 社町)で7日

から1週間の実習に取
り組むロシア人学生が
30日、同校を見学に訪
れた。写真1。

◇…来日したのは同
校の姉妹校であるロシ
ア極東国立農業大の4
人。自動車工学が専攻
で、1、6日は
県内の企業で研
修する。

◇…設備の充
実ぶりに目を見
張った4人。卒
業を来年に控え
る5年生も思わ
ず「1、2年、
金沢で勉強して
いきたいくら
い」とぼつり。

タイの人々の
優しさを伝えたい

小松 智子 37歳

(熊本市・英語講師)

先日、タイを訪問しまし
た。目的は「スラム街」の
エクトの活動。広島の靴メ
ーカーさんから提供された
運動靴をタイのスラム街の
子供たちに寄付するといっ
たものです。NPO法人 se

issuのメンバーとして
事業に参加してきました。
訪問したクロントイ地区
には約13万の人々が居り、
だいたい2畳程のスペース
に4、5人が住んでいます。
そんな彼らが阪神・淡路大
震災の時に1パーティ、2パ
ーティ(1パーティ3円)と
寄付してくれました。そ
れが集まって125万パ
ーティになり、震災後たった2
週間で、このスラム街から
寄付金が届けられました。
スラム住民の生活は決し
て裕福ではありません。だ
からこそ困難な状況にある
人を見逃さないのこともし
れません。私ができること
は小さなことかもしれない。
でもタイの人々の優し
さをこれからも伝えていき
たいと思います。

国慶節ツアー
きょうから実施

中国、154人が来県

県は30日、中国の國
慶節(建国記念日)の
休暇(10月1、7日)
を照準に、石川、静岡
両県が計画した観光ツ
アーが、予定通り行わ
れると発表した。沖縄

・尖閣諸島沖で起きた
日本の巡視船と中国漁
船の衝突事件の余波
で、一時は実施が危ぶ
まれたが、県によると、
期間中に154人が訪
れる。

観光ツアーは計5本
組まれ、いずれも小松
―上海―静岡―上海の
両航空定期便を利用。
石川、静岡両県の観光
地めぐりのほか東京、
長野観光などが盛り込
まれている。1日は小
松―上海便で68人が県
内を訪れる予定で、県
は小松空港内で歓迎式
典を行う。

漁船衝突事件の影響
で9月下旬に上海市内
で計画され、県が参加
を予定していた「日中
文化観光交流ウィー
ク」が中止となり、上
海市と周辺3市で企画
されていた観光関連の
商談会も延期された。



「おもてなし」台湾で

日本の植民地時代に温泉地として開発された台湾北部の北投温泉で、和倉温泉の老舗旅館「加賀屋」が和風温泉旅館を12月中旬にオープンする。北投温泉は台北市中心部から車で約30分。1906年創業の加賀屋は客室係のきめ細やかなサービスで知られ、業

界紙のホテル・旅館ランキングでは30年連続1位。台湾からも毎年平均1万人の観光客が訪れることから進出を決めた。建設中の旅館は客室90室すべてが和室。投資額は日本円換算で約60億

12月オープン 加賀屋が温泉旅館

12月のオープンに向け、建物竣工後の接客の訓練をする客室係の台湾人女性ら

(共同)

円。台湾の不動産開発会社との合弁で経営する。宿泊費は1泊1人当たり約3万2千円から。現地で従業員の指導に当たる加賀屋の神前裕常務(55)によると、指導で重視するのは「気働き」と呼ぶ接客態度。「お客が言う前に、お客がしてほしいと思うことをする。これを従業員に覚えてもらうのが難しい」約80人の客室係の1人で、台湾の一流ホテルか

ら転職した黄嬌嬋さん(27)は「ドアを静かに開け閉めしたり、日本語で敬語を使ったりするのが難しい。旅館はホテルとは全く違うサービス」と話す。

神前さんによると台湾だけでなく、中国、ベトナム、ロシアなどからの勝教もある。ブルガリアからは「国として温泉開発を図りたい」との話も。神前さんは「各国で癒やし産業が重視されるようになり、日本のノウハウが注目されている。今後は『おもてなし』というソフトを日本の武器として出していければ良いと思う」と話した。

(台北共同)



欧州の流行を指南

リソース
いしかわ
繊維

パリから「次は軽い素材」
専門家

わ(金沢市)の2012年トレンド説明会。写真Ⅱは30日、同市の石川県地場産業振興センターで開かれた。パリからファッション専門家を紹介し、北陸三県の繊維企業に対して欧州で流行が予想される素材や色彩について指南した。

北陸三県繊維産業クラスターの欧米向け販路開拓事業の一環として企画し、17社約50人が参加した。ネリーロディ社のカトリヌ・バスカン氏が合繊素材のトレンドを紹介し、「聖書しい世相を振り払うような軽い素材が次に流行する」などと助言した。参加企業は流行情報を基に商品開発を行い、来年1月にパリとニューヨークの販売代理店を通じて有力ブランドに売り込む。

フランス発の人気ブランド

A. P. C アー・ペー・セー

来春北陸に初進出

金沢・香林坊に路面店

フランス発の人気ブランド「A. P. C (アー・ペー・セー)」が来春3月、金沢市香林坊1丁目に路面店を開業する。国内では大都市圏を中心に店舗展開しており、北陸には初進出となる。メンズ、レディースのファッション、雑貨などあらゆる商品群をそろえ、幅広い世代の取り込みを目指す。

年に創設されたアパレルブランドで、厳選された素材を生かし、洗練されたシンプルなデザインが特徴。パリを拠点とし、世界的に知名度が高く、国内でも幅広い世代の支持を得ている。

金沢店は、現在は北

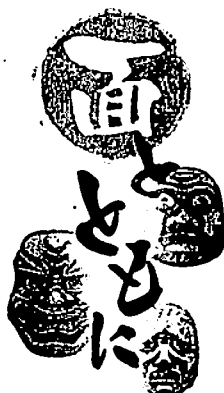
国会館1階にある三越経営のティファニー金沢店が10月中旬に閉店するに伴う後継テナントとして出店する。紳士、婦人衣料のほか、靴、バッグ、アクセサリなど、定番だけでなく最新商品も取り扱

香林坊大和で新ブティック

ティファニー、11月6日に開店

A. P. C は、シャーン・トゥイトゥ氏によって1987(昭和62)

ティファニー・アンド・カンパニーは、ダクを香林坊大和1階で11月6日に開店する。



鼓太乗御
歩み50年

㊦

昭和四十年代から五十年代にかけて、旧国鉄能登線に乗って多くの観光客が能登を訪れた。「能登ブーム」でにぎわった珠洲市や輪島市曾々木の旅館やホテルで、宿泊客の心をとらえたのが、御陣乗太鼓だった。

珠洲市にあった「ホテルニュー真浦」。昭和五十年代、愛知県安城市の安城東高校の教頭が、修学旅行の下調べにホテルに立ち寄った。その夜、御陣乗太鼓の実演を見て、魂の響きに魅せられた。故・藤岡直彦社長と話し合い、輪島市の千枚田での草刈りをメインとした修学旅行を企画。一九八二年から十年間続き、訪れた生徒は四千五百人を超えた。

「修学旅行でなんで草刈りなの」。生徒たちの不満の声を、宿を後にする時に感謝の言葉に変えたのは、草刈り後の充実感と夜の御陣乗太鼓だった。

魅せられた人たち

た。同校の卒業生の一人で、山下直木さん(三〇)「安城市」は「すごい迫力だった。強く印象に残っている」と記憶を胸に刻む。

当時、ホテルで営業を担当し、その風ほづから「クマさん」と親しまれた小山栄さん(六〇)「現輪島市」の元には、今も生徒から便りが届くという。

曾々木でも、多い時は一日千人から千五百人が宿泊した。御陣乗太鼓の打ち手が旅館や民宿、神社へと走り回った。当時ユースホテルを経営し、「観光の目玉」と太鼓を招く仕掛け人となつた藤平朝雄さん(五〇)は「観光客を能登に呼び、

響きが魂を揺さぶる

ひいては石川県全体の観光に貢献した。能登の誇り」と語る。

愛知県安城市のエッセ十七年間、見続けていり、二日の結成五十周年イスト平田豊三郎さん。保存会の会員とは結婚祝賀会は招待席に座る。(六〇)は、御陣乗太鼓を二婚式に招かれる仲間な十八歳でオーストラリ



太鼓の実演終了後、恐る恐る握手を求めにいく子どもたち＝輪島市河井町で

アに渡った。「物まねをする国から来た」と言われ悔しい思いを抱いた青年が、本で見た御陣乗太鼓の写真に「最も日本のなものに出会えた」と心奪われた。「いつかの目で」。かなったのは三十三歳の時。帰国して奥能登へ。本物を見て涙が止まらなかった。

「何のまねでもない。魂を揺さぶり、人生の応援歌にもなる。日本が世界に誇ることができる純国産の太鼓であり、私たちがどこかに置いてきた魂を伝えてくれる」。その思いをエッセーやラジオで伝え続けている。

だれが名付けたのか。御陣乗太鼓には「太鼓デビュ」という言葉がある。太鼓を打つのではなく、幼い子が御陣乗太鼓を見に行く。打ち終えた怖い面の人の元に、恐る恐る一人で行く。「握手ができたよ」。さぞやかなデビュ。あこがれのまなざしにいつか太鼓を打つまねが加わる。

御陣乗太鼓の音の響きが、多くの人に誇りとあこがれを抱かせている。(小塚泉)

アルプが農業参入

生産者と
共同出資 イチゴをハウス栽培

臨床・食品環境検査や調剤薬局事業を手掛けるアルプグループ(金沢市)が、農業に参入する。同市の加賀野菜「五郎島金時」生産者と十月に共同出資会社を設立。イチゴをほぼ一年中ハウス栽培して出荷するほか、収穫体験もできる観光農園を運営。新しい農業のビジネスモデル確立を目指す。(網信明)

観光農園も運営へ

設立する会社名は「金時栽培に携わる西沢立ち上げ」。会長に古「五郎島農園」。約二十「一さん」と計九百「アルプ」会長、社年間サツマ芋の五郎島「一万田」を出資、一日付で

長に西沢さんが就く。同市の西沢さんの畑のうち千平方メートルに二棟を建

栽培経験者の数人で農園を運営する。温度管理した環境の中で、必要な栄養分を入れた液体に苗を浸す養液栽培で育てる。同グループは、販売戦略やPRなどを担当する。

栽培品種は、表面の果肉が固めな「キーキ」と業務用と、甘みの強い生食用の二品種程度を予定。十月中にまず千本の苗を植え、クリスマスケーキ用に需要が高まる十二月の初出荷を目指す。来春までには苗を一万本程度に増やし、流通量が少な

い夏場も含めた四〜十月に継続して出荷できる態勢を整える。

アルプは「医療や食品衛生に携わる企業として、この地域にとって重要な農業の活性化に貢献したい」との考えから、古賀会長と旧知の西沢さんとの間で構想を温めてきた。

「新たな五郎島、金沢ブランドとして全国に発信できれば」と同グループ。西沢さんも「将来はハウスを増設してフルツトマトの栽培も手掛けた」と話している。



アルプグループなどの共同出資会社がイチゴを栽培するハウス＝金沢市内で

沖縄県・尖閣諸島周辺で発生した中国漁船衝突事件に関して30日、衆院予算委員会の集中審議があり、与野党の委員や傍聴議員が激しいヤジ合戦を繰り広げた。審議の争点は、海上保安庁の巡視船に体当たりした中国漁船の「悪質な公務執行妨害事件」(仙谷由人官房長官)について、司法手続きは適正だったか、船長の釈放決定に政治介入があったのか、日本の国益に影響があったのか—など。菅政権の外交姿勢や日本の国家像も問われた。

大丈夫なの 菅外交

中国漁船衝突

午前九時、衆院本館三階の第一委員室。野党席の後方には自民党議員約十人、与党側には民主党政綱約二十人が詰め掛けた。自民党は人数では劣るものの、タカ派の論客として知られる稲田朋美議員らが、一年生中心の民主党、応援団、にらみを利かせた。

冒頭、菅直人首相が「国民に心配をかけたことをおわびしたい」と頭を下げると、すかさず自民党席から「国民は怒っているんだよ」とヤジが飛ぶ。首相が、中国側の対応を「わが国の国内法に基づいて適正な手続きを、ある意味、認めない姿勢は大変問題があった」と批判しても、自民党議員は「ある意味、どういふ意味だ」「何を言っているかわからない」と、「口撃」を続けた。トップで質問に立った



「おまえが総理か」 答弁を仕切るヤジを氏に

民主党の長島昭久前防衛政務官が「検査の判断を遅延するかのような説明で納得する国民は一人もいない」と苦言を呈した場面では、与党席もそろって「そつだ」と含みの手を入れたが、弁解じみた首相の答弁にはほとんど音なし。しらけた露骨な顔も覗いた。

この日のメインイベント、自民党の小野寺五典元外務副大臣とのバトルが始まると、野党のヤジに一段と力がこもる。首相が、事件を撮影したビデオについて「見ていない」と発言すると、小野寺氏は「そんなに関心が薄いのか。いいかげんにしてほしい」。野党席は「見ないで説明できるのか」「人ごとか」と過熱した。

調口解弁ながら見メモ

外相に代わり事件処理をび手元のペーパーに目を取り仕切った「実力者」落とす首相の危なげな答の仙谷官房長官。たびたび井ぶりにしひれを切らす答弁に立ち続けた。



激しいヤジが飛び交った衆院予算委員会(30日、国会)

かのように、指名されておまえが総理か」「官房長官を排除しろ」。野党議員の激しいヤジもどく吹く風。中国人船長を釈放した検査判断への政治介入については「(小野寺)委員がどういう意味で政治介入という言葉を使っているのか全く不明だが、事件処理について指示したことはない」とけむに巻く。

野党理事が「時間稼ぎだ」と与党側に詰め寄るのを横目に、事件の経過について長々と説明する鉄面皮ぶりも発揮した。ついに、進行役の委員長代理を務めた民主党的松原仁議員が「官房長官、菅直人君」と言い間違える始末だった。

結局、明らかになったのは首相の逃げ管ぶり。委員会後、自民党の小泉進次郎議員は「総理に答弁を求めたのに、なぜ官房長官が(答弁に)立つのか。国民の純粋な疑問だ。政治主導でたまたましていただきたい」と不満をあらわにした。

「強硬→軟化」 方針一貫せず」

中国漁船の衝突事件は七日に発生。翌日、海上保安庁が公務執行妨害容疑で船長を逮捕した。二〇〇四年に尖閣諸島に中国人活動家ら七人が違法上陸した時は、全員が逮捕された。今回、船長は十九日に拘留延長となり、中国側は一貫に強硬姿勢を鮮明にした。ところが結局、船長は

処分保留で釈放に。元検事で名城大コンプライアンス研究センターの郷原信郎弁護士は「日本は当初強硬だったが、中国の圧力で軟化したようにみえる。方針が一貫していない」と指摘する。

菅首相は集中審議で「政治介入はない」と繰り返した。だが、那覇地検は船長釈放の際に「今後、刑事処分の理由」としては異例の外交的配慮を挙げた。郷原氏は「外交問題は刑事司法で

28日、北京で記者会見する中国外務省の要請副報道局長＝共同
中国人船長釈放の翌日、全勝優勝した横綱白鵬に内閣総理大臣杯を渡す菅首相＝26日、東京・両国国技館で



菅 つかま



内政タイプ「騒動見通せず」

扱えない。検察庁は行政機関の一部であり、裁判所における「司法の独立性」とは無関係。今回は法相が検事総長に指揮権を発動すべき典型的な例だ」とみられる。

事実経過も「政治介入」を疑わせるように見える。二十一日に中国の温家宝首相が船長の無条件釈放を要求すると、房長官らの了承を得て、二十二日には外務省の担当課長が那覇地検に出張。日中関係について「説明」を受けた地検は、高検や最高検と協議し二十四日に釈放を決めた。

あたかも「検察の一存」にしたかのような菅政権の答弁ぶりが、外交としてはどうか。

政治評論家の小林吉弥氏は「菅首相は内政タイプで、外交感覚に乏しい。民主党政代表選(十四日)にエネルギーをどう使っていくかまで騒動が拡大するとは見通せなかったのではないか」と批判する。さらに「民主党政議員は中国とのパイプが弱い。官僚も積極的に協力しなかったのでは」とも。

民主党内で中国と強いパイプを持つのは、小沢一郎元幹事長といわれ、先日の代表選で敗北した小沢氏にしてみれば「死闘を繰り広げた後に、挙党態勢といいた後、菅首相をやらせた。メンツを考慮すれば首相の手助けをするはずがない」と小林氏。

同じく菅首相を「外交の素人」としながらも、一定の評価をするのは東京財団の渡部恒雄上席研究員。鳩山前首相のようには、高検や最高検と協議せず、周囲に任せただけの「説明」を受けた地検は、高検や最高検と協議し二十四日に釈放を決めた。

中国に拘束された日本人のうち三人の釈放や、日中間の対立激化をある程度防いで成果を挙げた

「国家安保会議 日本にも必要」

渡部氏は、今回の問題に対処に代表選が影響したのとは否めないとした上で、「政治対応が遅れることはないか」と批判することがあり得るからである。さらに「民主党政議員は中国とのパイプが弱い。官僚も積極的に協力しなかったのでは」とも。

国にあるような国家安全保障会議を日本にもつく

「自分で動かず周囲に」鳩山さんよりも山内さん評価

今回の事件で得をしたのはどちらの国か。小林氏は「日本の浅薄な外交では太刀打ちできないし」として、尖閣諸島は領土問題であるとの国際的にPRしたとして中国に軍配を上げ、菅政権は「一日からの臨時国会で一気に衰弱する可能性がある」と推測する。

渡部氏は「海外メディアは日本の立場を理解しており、国際的には中国が失ったものの方が大きい」と断言。「中国は民主主義国家ではないが、経済関係を考えれば敵には回せない。日本が利害関係で優位に立つて中国を誘導することが重要。この事件をきっかけに、米国や東南アジアなどと連携して対中問題に取り組むべきだ」

日中双方の政府対応に怒りを覚えたという人が多い。小沢氏が首相だったなら、緊張緩和に手腕を振るったかもしれない。なにせ大勢の国会議員を引率して北京を訪れ、対中人脉を誇示するほどだ。いや、首相でなくても「実力」のある政治家ならば、国益のために滅私奉公するのが務めではないか。(立)

領土の現実 日中が理解を

尖閣問題

劉江永・清華大教授に聞く

【北京＝安藤淳】沖縄県・尖閣諸島(中国名・釣魚島)沖での漁船衝突事件でひびが入った日中関係。領有権をめぐる中国側の考えや、両国の今後の対応について、清華大 学国際問題研究所の劉江永教授に聞いた。

日本は船長を釈放 中国は、領土問題はた、九七年に中日漁業協定を結び、中日双方存在しないとする日本協定を結び、中日双方は自国の漁船のみ取り締まる権限を有する、釣魚島問題や自衛隊の末の防衛計画大綱で、

もし起訴していれば、胡錦濤国家主席まえて、中日国交正常化以降、日本の指導者、アシア太平洋経済協力会議(APEC)を解決したいと言ったが、一九九六年に池田行彦外相(当時)菅直人首相や前原誠司外相が中国に非友好

中国が日本を許さない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

中国が領土問題を存在を認めない理由は、初めて提起した。ま

自衛隊増員は危険



日中関係のあり方などについて語る劉江永
清華大 学国際問題研究所教授・安藤淳撮影

この問題の処理では経 験が少なかった。漁業の対立になってしま 協定の話は知らないのう。

では、日本は民主党代 表選が終わったばかり 国家安法により米

で、政局が不安定な状 態だ。(この状態で) 国人に対しても類似事

民族主義を扇動するこ 件は発生している。漁

とを、中日双方は避け なければならない。

今後、日中両国は 両事件は関係ない。

今後、日中両国は 両事件は関係ない。

今後、日中両国は 両事件は関係ない。

どうすべきか。

双方が領土問題の現 実を認識すべきだ。中 国側も日本にしっかりと

と、なせこうなったか

説明する必要がある。

衝突時のヒラオを見な

がらでも、事務レベル

で折衝すべきだ。

特に大切なのは、年

末の防衛計画大綱で、

釣魚島問題や自衛隊の

増員など

を突出させないこと

だ。今回は歴史が残し

た矛盾の中で発生した

偶然の突発事件の処理

ではない。一つの釣

魚島問題にとどまらず

本音の コラム



ロシアのメドベージェフ大統領が近未来に北方領土を訪問する意向を表明した。これに対して前原誠司外相が九月二十九日、ペールイ駐日ロシア大使を呼び、大統領の北方領土訪問が実施されれば、「日ロ関係に重大な支障が生じる」という懸念を伝えた。

こういふ懸念を伝えても、ロシアはそれを無視し、近くメドベージェフ大統領は、国後島と択捉島の両島もしくは一島を訪れると筆者は見ている。ロシアとして返還する用意があるのは歯舞群島と色丹島の二島のみだというシグナルを日本側に送ることが目的だ。

ロシアの思惑を切り崩

と 優
佐藤

北方領土での首脳会談

す秘策が筆者にある。国後島もしくは択捉島での日ロ首脳会談を呼びかけるのだ。その準備として、前原外相が外交ルートで「ロシアのラフロフ外相と年内に国後島もしくは択捉島で会談を行いたいので、日程を詰めてほしい」と提案する。

日ロ間には、北方四島とのヒザなし交流の枠組みがある。それだから、この提案をむげに断ることはできない。前原外相が北方四島に渡航するとき、海上保安庁の巡視船で根室から直接現地向かう。こうして、現地に日本の外相が、日本政府の立場を毀損しない形で乗り込めば、メドベージェフ大統領が北方領土を訪問しても、それによってロシアによる不法占拠を正当化することを阻止できる。(作家・元外務省主任分析官)

場

を配信

党最高幹部である
局常務委員になる
急浮上した人物
陣における正銀氏
見人と見られてい
正銀氏や金総書記
、金慶喜党部長
目付で大将に任命
ているが、写真で
人とも軍服は着て
す、元帥である金
配同様、2人の軍
の立場があくまで

22.10.-1

北国(朝・夕)

国際交流課



